

がん臨床研究に携わる CRC 教育シラバス

作成

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 臨床研究部会 CRC 教育ワーキンググループ

2016 年 5 月 16 日

初案作成

2017 年 11 月 6 日

臨床研究部会長承認

はじめに

国立がん研究センターは、厚生労働省「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」に基づき、「都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会」(国協議会)を主催しており、国協議会の下に、「がん登録部会」、「情報提供・相談支援部会」、「緩和ケア部会」、「臨床研究部会」が置かれている。

「臨床研究部会」は平成23年に「臨床試験部会」として、「研究者主導臨床試験の基盤整備と実施支援体制の構築」を目指して設置された。以降、がん診療連携拠点病院における研究者主導臨床試験の基盤整備事業の提案や、研究者主導臨床試験を支援するCRCの雇用をがん診療連携拠点病院の指定要件とする提案等を、国協議会を通じて厚生労働省に行ってきた。平成26年からがん診療連携拠点病院の整備指針の指定要件に「調査研究への協力体制の整備」が加えられたことを受けて、部会のscopeを臨床試験から臨床研究に拡げることとなり、平成26年8月の第3回部会会議をもって部会名を「臨床研究部会」に改めた。また、第3回部会会議にて、がん臨床試験を支援するCRCの教育体制の充実の必要性が議論され、部会に「CRC教育ワーキンググループ」を設置することが決定された。

「CRC教育ワーキンググループ」は、巻末に示した15の都道府県がん診療連携拠点病院からのメンバーで構成され、平成27年8月より活動を開始した。ワーキンググループでの議論により、教育資料としての教科書や各種団体が開催するセミナーは既に存在するが、そうした情報へのアクセス方法がCRCに知られていないため、情報を一括して提供するポータルサイトを設けることが決定された。また、CRCが習得すべき知識の全体像を示す目的で、厚生労働科学研究費補助金「臨床研究コーディネーター養成カリキュラムの標準化に関する研究」班(楠岡班)が作成した「初級者CRC/上級者CRC養成カリキュラム」を元にがん臨床試験に特化した内容を追加したカリキュラムを作成することとなった。

本シラバスおよび当サイトで提供する「がん臨床研究に携わるCRC教育カリキュラム」は、がん臨床試験に携わるCRCの自学および医療機関におけるCRCの教育プログラム策定に資することを目的とするものである。本シラバスおよびカリキュラムが、我が国においてがん臨床試験に携わるCRCの養成に寄与することを祈念する。

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 臨床研究部会 部会長

国立がん研究センター研究開発費29-A-15主任研究者

「共同研究グループ間およびがん診療連携拠点病院間の連携によるがん治療開発研究の効率化と質的向上のための研究」

国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 データ管理部
福田治彦

内容

1. Human subject protection 被験者保護	4
2. Management of essential documents 試験関連文書の管理	5
3. Regulatory knowledge and ethics 規制と倫理	6
4. Investigative site management 研究実施機関管理	7
5. Clinical trial management 臨床試験管理	8
6. Test article accountability and management 被験薬・機器の管理責任	9
7. Project management プロジェクトマネジメント	10
8. Quality management 品質管理	11
9. Data management データマネジメント	12
10. Clinical research environment 臨床研究環境	13
11. Business management skills ビジネススキル	14
12. Interpersonal skills 対人(人間関係)能力	15
13. Personal/professional management 個人/専門職としての管理	16
14. Supervisory skills 管理者としてのスキル	17
15. その他	18
16. Clinical Trials in Oncology がん臨床試験	19

1. Human subject protection 被験者保護

1	Human subject protection 被験者保護	
授業科目の目標	被験者保護の概念を知り、臨床研究の IC における CRC の役割を説明できる	
テーマ	臨床研究の IC における CRC の役割	がん臨床試験の IC における CRC の役割
サブテーマ	臨床研究の IC における CRC の役割	
概要		
1. 被験者保護の概念と IC の目的 2. 開示する情報と意思決定までのプロセス 3. インフォームド・アセント、代諾者による同意 4. IC における CRC の役割		1.登録候補患者の選択
1	Human subject protection 被験者保護	
授業科目の目標	被験者保護の概念を知り、治験審査委員会の役割を説明できる	
テーマ	倫理審査委員会 (IRB/EC) の役割	
サブテーマ	治験審査委員会の役割と機能	
概要		
1. 臨床研究における倫理審査の必要性 2. 倫理審査委員会の誕生・発展の経緯 3. 治験審査委員会の役割 4. 治験審査委員会の審査の観点と審査の対象		
1	Human subject protection 被験者保護	
授業科目の目標	被験者保護の概念に精通し、実施する臨床研究に適用する方法を説明できる	
テーマ	被験者保護の概念とその適用	
サブテーマ	IC の概念とその適用	がん臨床試験における IC の概念
概要		
1. IC とは何か 2. 臨床研究における IC の特徴 3. 臨床研究における IC と CRC の役割		1. がん臨床試験における IC の特徴 2. がん臨床試験における IC と CRC の役割
ACRP 1	Human subject protection 被験者保護	
授業科目の目標	研究倫理の本質を理解し、よりよい倫理審査のあり方を説明できる	
テーマ	研究倫理と倫理審査	
サブテーマ	研究倫理と IRB/EC が果たすべき役割・機能	
概要		
1. 臨床研究の倫理の 8 要件 2. 研究の公正性 3. 倫理審査委員会による研究審査の規準		1. 臨床研究の倫理の 7 要件

2. Management of essential documents 試験関連文書の管理

2	Management of essential documents 試験関連文書の管理	
授業科目の目標	文書保管の目的・重要性を説明できる	
テーマ		
サブテーマ		がん臨床試験に関連する文書の管理
概要		
該当なし		IRB 承認書(医療機関の長の研究実施許可書) プロトコルバージョン、IC 文書、CRF 終了報告書

3. Regulatory knowledge and ethics 規制と倫理

3	Regulatory knowledge and ethics 規制と倫理	
授業科目の目標	被験者に対する倫理的配慮の必要性を理解できる	
テーマ	研究倫理	
サブテーマ	臨床研究の歴史/倫理的ガイドライン制定の経緯	人を対象とする医学系研究倫理指針
	研究倫理の多様性に応じた法令体系	
概要		
臨床研究の歴史/倫理的ガイドライン制定の経緯 1. 臨床研究の歴史 2. 倫理的ガイドライン(ヘルシンキ宣言等) 3. 診療と研究の境界		人を対象とする医学系研究倫理指針
研究倫理の多様性に応じた法令体系 1. 治験と臨床研究の違い 2. 臨床研究の種類に対応した法令・指針の体系 3. 臨床研究における個人情報取り扱い 4. 利益相反の考え方		公的研究費 利益相反 がん臨床試験と補償の考え方

3	Regulatory knowledge and ethics 規制と倫理	
授業科目の目標	臨床研究に関する法令、規制要件等を知り、医療機関の役割を説明できる	
テーマ	医薬品医療機器等法、健康保険法関連規制	
サブテーマ	医薬品開発に適用される法令	
	保険外併用療法費制度	
概要		
医薬品開発に適用される法令 1. 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 2. GCP 省令策定の経緯、3. GCP 省令の目的、適応、構成		
保険外併用療法費制度 1. 保険外併用療法費の仕組み、2. 治験における保険外併用療法費の適用、3. 先進医療 4. 患者申出療養		

3	Regulatory knowledge and ethics 規制と倫理	
授業科目の目標	規制要件や研究倫理に関する知識および最新の動向に精通し、実施する臨床研究に適用する方法を説明できる	
テーマ	臨床研究に関する規制要件の動向と運用	
サブテーマ	臨床研究に関する規制要件の動向と運用	人を対象とする医学系研究倫理指針
概要		
1. 人を対象とする医学系研究倫理指針の解説 2. 再生医療等の安全性の確保等に関する法律の解説 3. 先進医療の解説と臨床研究への活用の実際 4. 患者申出療養の目的、位置づけ		2015年10月1日より、モニタリング・監査も施行 施設で実施する臨床研究も対象

4. Investigative site management 研究実施機関管理

4	Investigative site management 研究実施機関管理	
授業科目の目標	治験/臨床研究実施機関に求められる機能が理解でき、自施設の体制を説明できる	
テーマ	実施医療機関の体制	研究者主導がん臨床試験実施体制
サブテーマ	治験に関わる人々の役割	がん臨床試験に関わる人々の役割
概要		
1. 治験事務局の役割 2. 治験事務局の業務の実際 3. 治験実施医療機関の長の役割 4. 治験責任医師の役割 5. SMO の役割と医療機関との関係		1. 自施設の研究者管理 2. 内科、外科、放射線治療 3. 病理、画像診断、他 4. 医師主導治験 5. がんサロン(緩和ケア)

4	Investigative site management 研究実施機関管理	
授業科目の目標	自施設の臨床研究実施体制の課題を説明でき、対応方法を説明できる	
テーマ	臨床研究実施体制の課題と方略	
サブテーマ		
概要		
演習課題		

5. Clinical trial management 臨床試験管理

5	Clinical trial management 臨床試験管理	
授業科目の目標	CRC の役割と CRC に求められる職業倫理を理解できる プロトコールで求められる手順を理解し、それを遂行するための CRC の役割や業務を説明できる。	
テーマ	CRC 業務	
サブテーマ	プロトコールの読み方/治験薬概要書の読み方	がん臨床試験プロトコールの読み方
	CRC の役割 研究協力者として必要な倫理的態度	がん臨床試験 CRC の役割
	CRC 業務の実際	がん臨床試験 CRC 業務の実際
概要		
プロトコールの読み方/治験薬概要書の読み方 1. プロトコールの読み方/治験薬概要書を作成する目的 2. 構成とその内容 3. CRC が読み解くときの留意事項		がん臨床試験プロトコールの読み方
CRC の役割と研究協力者として必要な倫理的態度 1. CRC の役割とは何か 2. CRC の職業倫理とは 3. 臨床研究における不正行為を防止する上での CRC の貢献 4. 研究データの取り扱い		がん臨床試験 CRC の役割
CRC 業務の実際 1. 治験開始前 2. 治験実施中 3. 治験終了後		がん臨床試験 CRC 業務の実際

6. Test article accountability and management 被験薬・機器の管理責任

6	Test article accountability and management 被験薬・機器の管理責任	
授業科目の目標	治験薬管理のポイントを理解し、説明できる	
テーマ	被験薬の管理責任	薬物治療、放射線治療、外科手術のポイントの理解
サブテーマ	治験薬管理の実際	薬物治療、放射線治療、外科手術
		試料解析研究用試料採取
		病理診断(診断時、中央判定時)
		画像診断(初診時、効果判定時)
概要		
1. 治験薬管理者の役割	薬物治療 放射線治療 外科手術	
2. 治験薬の温度管理		
3. 治験薬管理業務の実際		
4. 個々の被験者に対する治験薬管理のポイント		
		試料採取と保管・輸送に必要な管理
		病理診断に必要な管理
		画像診断に必要な管理

7. Project management プロジェクトマネジメント

7	Project management プロジェクトマネジメント	
授業科目の目標	治験依頼者や研究の中央支援機構(セントラル)の役割を説明できる 臨床研究の実施に必要な組織・人を説明できる	
テーマ	実施体制	
サブテーマ	企業治験における治験依頼者の役割	がん臨床試験の実施体制と役割の理解
	医師主導の臨床研究の実施体制	
概要		
企業治験における治験依頼者の役割 1. 医薬品や医療機器の開発におけるプロジェクトマネジメント 2. 治験依頼者の役割 3. CRA の役割と機能 4. CRO の役割と機能 5. 効果安全性評価委員会の役割 6. 中央判定委員会の役割		がん臨床試験の実施体制 1. 開発相に応じたプロジェクトマネジメント 2. 研究事務局の役割 3. CRC の役割 4. Cooperative group の概要 5. 効果安全性評価委員会の役割
医師主導の臨床研究の実施体制 1. 医師主導の臨床研究の特徴 2. 医師主導治験の実施体制 3. 医師主導治験以外の臨床研究の実施体制と関わる人々の役割		医師主導治験の実施体制

7	Project management プロジェクトマネジメント	
授業科目の目標	臨床研究の多様性を理解し、それに対応するための実施体制を説明できる	
テーマ	プロジェクトマネジメント	
サブテーマ	臨床研究におけるプロジェクトマネジメントの本質と実施施設への適用	がん臨床試験の実施体制
概要		
1. 臨床研究におけるプロジェクトマネジメントの役割 2. プロジェクトに必要な組織と機能 3. プロジェクトマネジメントのプロセス 4. 臨床研究におけるプロジェクトマネジメントの実際		がん診療連携拠点病院におけるがん臨床試験の実施体制

8. Quality management 品質管理

8	Quality management 品質管理	
授業科目の目標	治験・臨床研究の成績の信頼性を確保するための品質管理・品質保証、および実地調査の目的・方法を説明できる	
テーマ	品質管理・品質保証	
サブテーマ	モニタリング・監査、 規制当局による GCP 実地調査の目的と方法	多施設共同臨床研究における モニタリングと監査
		多施設共同臨床研究における 有害事象報告
概要		
1. 治験、臨床試験データの品質管理、品質保証の重要性 2. 治験依頼者のモニタリング・監査の目的、位置づけ、違いについて 3. モニタリング・監査の実際 4. PMDA による GCP 実地調査の実際	JCTN ガイドラインの紹介 <ul style="list-style-type: none"> • モニタリング • 監査 • 有害事象報告 	

9. Data management データマネジメント

9	Data management データマネジメント	
授業科目の目標	データの質が結果に与える影響を理解し、原資料のあり方、適切な記入・入力要領を説明できる	
テーマ	データマネジメント	
サブテーマ	臨床研究におけるデータマネジメントの目的と方法	がん臨床試験におけるデータマネジメントの目的と方法
概要		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床研究におけるデータマネジメントの目的 2. 原資料の信頼性 3. データマネジメントの実施体制 4. 実施施設におけるデータマネジメントの役割 5. データ収集の方法 6. 原資料の管理 7. 症例報告書作成のプロセス 		<ol style="list-style-type: none"> 1. がん臨床試験におけるデータマネジメントの目的 2. CRF 記入 3. 原資料の保管 4. RECIST による効果判定 5. QOL 調査とその後のフォロー

9	Data management データマネジメント	
授業科目の目標	データ完全性 data integrity の概念を理解し、データマネジメントの質が研究結果に与える影響を説明できる	
テーマ	データマネジメント	
サブテーマ	データの完全性の概念と、データマネジメントが研究結果に与える影響	データマネジメントが研究結果に与える影響
概要		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床研究のデータに備えるべき特性 2. 不完全なデータが研究結果に与える影響 3. 実施施設におけるデータマネジメントのシステム構築 		<ol style="list-style-type: none"> 1. データマネジメントが研究結果に与える影響 2. 生存時間解析の概念とデータ

10. Clinical research environment 臨床研究環境

10	Clinical research environment 臨床研究環境	
授業科目の目標	臨床研究・治験を取り巻く環境について理解し、国内の課題と施策について説明できる	
テーマ	我が国の治験・臨床研究の課題と施策 我が国の治験・臨床研究の国際化	
サブテーマ	「臨床研究・治験活性化5か年計画2012」作成の経緯、内容、進捗状況、残る課題	公的研究費下で行われる臨床試験 大規模多施設共同研究
	国際化共同治験の特徴および実際と必要な英語力	
概要		
「臨床研究・治験活性化5か年計画2012」 1. 我が国の治験・臨床研究の現状と課題 2. 「臨床研究・治験活性化5か年計画2012」作成の経緯 3. 治験・臨床研究の活性化施策		研究開発費、各種研究費
国際化共同治験の特徴および実際と必要な英語力 1. 国際化共同治験の特徴および実際 2. 国際化共同治験でCRCに必要な英語力		

10	Clinical research environment 臨床研究環境	
授業科目の目標	臨床研究の国内外の動向を理解し、臨床研究環境の変化への対応方法を説明できる	
テーマ	臨床研究の国際的動向	
サブテーマ	国際共同試験の動向と臨床研究環境の変化への対応	
概要		
1. 国際共同試験の定義、目的および意義 2. 国際共同試験に関する考え方 3. 日本で実施している国際共同試験の現状 4. 国際共同試験の実施施設に求められる体制整備 5. 今後の展望と課題		

11. Business management skills ビジネススキル

11	Business management skills ビジネススキル	
授業科目の目標	望ましい職務上の対人関係形成の基盤となる行為や態度を説明できる	
テーマ	ビジネスマナー ネゴシエーション	
サブテーマ	ビジネスマナーとネゴシエーションスキル	
概要		
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般教養としてのビジネスマナー 2. 交渉力の磨き方、アサーティブなコミュニケーション 	

11	Business management skills ビジネススキル	
授業科目の目標	国内外の臨床研究関係者と望ましい職務上の関係を形成する方法を理解できる	
テーマ	医療英語コミュニケーション	
サブテーマ・方法・時間	国際会議でのプレゼンテーションスキル	
概要		
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際会議に CRC が参加する意義 2. 国際会議でのプレゼンテーション 3. 国際会議への参加 	

12. Interpersonal skills 対人(人間関係)能力

12	Interpersonal skills 対人(人間関係)能力	
授業科目の目標	被験者、研究者(治験責任/分担医師)、自施設内の関係部門、治験依頼者および研究の中央支援機構(ARO)など臨床研究に関わる人々と円滑なコミュニケーションを図る方法を説明できる	
テーマ	コミュニケーション論/被験者の思い	
サブテーマ	臨床研究チームにおけるコミュニケーション	がん臨床試験におけるコミュニケーション
	臨床研究に参加した患者の体験:ナラティブから学ぶ	がん患者とのコミュニケーション
概要		
臨床研究チームにおけるコミュニケーション 1. コミュニケーションとは何か 2. 臨床研究チームを構成する人々 3. 臨床研究チームにおける効果的なコミュニケーション		がん臨床試験チームにおけるコミュニケーション 1. コミュニケーションとは何か 2. がん臨床試験チームを構成する人々
臨床研究に参加した患者の体験:ナラティブから学ぶ 1. 臨床研究に参加することの患者にとっての意味 2. CRC に対する期待		1. がん患者とのコミュニケーション 2. 精神腫瘍、臨床心理士などの講義 3. がんサロンの活用 4. がん臨床試験に参加した患者の体験

12	Interpersonal skills 対人(人間関係)能力	
授業科目の目標	臨床研究の関係者(被験者と依頼者を含む)の意向の調整・合意形成(コーディネーション)方法を説明できる	
テーマ	コーディネーション論	
サブテーマ	臨床研究チームのコーディネーション	
概要		
1. コーディネーションとは何か 2. 多職種によるコラボレーションを促進するコーディネーションスキル 3. 臨床研究におけるコーディネーションの概念、目的、機能 4. 臨床研究チームの特徴と多職種協働 5. 臨床研究チームのコーディネーション方法		

13. Personal/professional management 個人/専門職としての管理

13	Personal/professional management 個人/専門職としての管理	
授業科目の目標	CRC に期待される役割を理解し、自らが目指す CRC 像を描ける CRC に求められる職業倫理を理解できる	
テーマ	CRC への期待	
サブテーマ	CRC のキャリアパスと私が目指す CRC 像	キャリアラダー
	研究者または医療機関の長、治験依頼者からの期待	
概要		
CRC のキャリアパスと私が目指す CRC 像 1. CRC の魅力、キャリアパスについて 2. CRC の将来性と私が目指す CRC 像		キャリアラダーを描く
研究者または医療機関の長、治験依頼者からの期待 1. 研究者または医療機関の長、治験依頼者からみた CRC の役割 2. 発展への期待		

14. Supervisory skills 管理者としてのスキル

14	Supervisory skills 管理者としてのスキル	
授業科目の目標	臨床研究の実施における組織マネジメント方法を理解し、資源(人・モノ・金・情報・組織など)の整備方法を説明できる。最適な組織マネジメントのために、上級者 CRC に求められるリーダーシップの特性と方法を説明できる	
テーマ	組織マネジメント論 リーダーシップ論	
サブテーマ	臨床研究の実施における組織マネジメントとリーダーシップ	CRC 教育目標、キャリアラダーの作成
概要		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 組織マネジメントとは何か 2. リーダーシップとは何か 3. 組織マネジメントとリーダーシップ 4. 組織の基盤を強化するための体制 5. 臨床研究の最適化プロセスとアウトカム 6. 上級者 CRC に求められる組織マネジメントとリーダーシップ 		<ol style="list-style-type: none"> 1. がん臨床試験に携わる CRC に求められるキャリア 2. 組織マネジメントとリーダーシップ 3. 医療機関におけるラダーの作成と管理

14	Supervisory skills 管理者としてのスキル	
授業科目の目標	臨床研究関係者(依頼者を含む)からの相談への対応方法を説明できる 臨床研究関係者に対する効果的な教育方法を説明できる	
テーマ	コンサルテーション論 教育論	
サブテーマ	臨床研究関係者に対するコンサルテーションと教育	
概要		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床研究関係者に対するコンサルテーションの理論と技法 2. 臨床研究関係者に対する教育の理論と技法 		

15. その他

ACRP 15	その他 CRCに必要な基礎知識	
授業科目の目標	CRCの役割を果たす上で必要な基礎知識を得る	
テーマ	基礎知識	
サブテーマ	医薬品開発の流れと臨床研究に関する基本用語	
	医療機器治験の特徴	
	臨床薬理学の基礎	
	臨床試験の方法論/生物統計学の基礎	
概要		
医薬品開発の流れと臨床研究に関する基本用語	<ul style="list-style-type: none"> ・ がんの治療開発の流れ(開発相と試験デザイン) ・ RECISTによる効果判定 ・ 生存時間解析 ・ 臨床腫瘍学の基礎(臓器がん別) ・ 臨床試験の方法論 ・ 結果の解釈 	
医療機器治験の特徴		
臨床薬理学の基礎		
臨床試験の方法論/生物統計学の基礎 1.臨床研究の目的による種別 2.デザイン、基本は比較、エンドポイント 3.交絡・ランダム化・二重盲検		
15	その他	
授業科目の目標	臨床研究の実施に関連深い法律、制度やトピックスを説明できる	
テーマ	最近の臨床研究に関する法・制度・トピックス	
サブテーマ	臨床研究に関連する最近のトピックス	
概要		

16. Clinical Trials in Oncology がん臨床試験

16	Clinical Trials in Oncology がん臨床試験
授業科目の目標	がん臨床試験の実施についての知識を得る
テーマ	
サブテーマ	臨床腫瘍学の基礎
	生物統計学の基礎
概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・がんの治療開発の流れ(開発相と試験デザイン) ・RECIST による効果判定 ・生存時間解析 ・臨床腫瘍学の基礎(臓器がん別) ・臨床試験の方法論 ・結果の解釈 ・緩和ケア 	

16	Clinical Trials in Oncology がん臨床試験
授業科目の目標	臨床研究の実施に関連深い法律、制度やトピックスを説明できる
テーマ	がん臨床試験の実施についてのトピックス
サブテーマ	公的研究費、
	新規抗がん薬
	臨床試験の方法論
	がん診療連携拠点病院 他部会の活動
概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床腫瘍学(最新のトピックス、ゲノム薬理) ・各種治療ガイドライン(臓器がん別) ・公的研究費、医療経済 ・新しい制度の理解 ・がん相談 	

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 臨床研究部会 CRC ワーキンググループ

臨床研究部会長 国立がん研究センター 中央病院 福田 治彦

ワーキンググループ

リーダー 静岡県立静岡がんセンター 安井 博史
サブリーダー 山口大学医学部附属病院 古川 裕之

ワーキンググループメンバー

東北大学病院	神宮 啓一	相澤 千恵
茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	小島 寛	小山 浩子
埼玉県立がんセンター	永井 成勲	靱山 愛美
公益財団法人 がん研究会 有明病院	高橋 俊二	宋 菜緒子
新潟県立がんセンター 新潟病院	田中 洋史	中司 晃子
金沢大学附属病院	長瀬 克彦	横井 祐子
静岡県立静岡がんセンター	安井 博史	柳澤 由紀
愛知県がんセンター 中央病院	安藤 正志	高柳 夏未
京都大学医学部附属病院	武藤 学	古川 恵子
島根大学医学部附属病院	鈴宮 淳司	宇越 郁子
山口大学医学部附属病院	古川 裕之	福井 幸枝
四国がんセンター	石井 浩	有田 佳代子
九州がんセンター	江崎 泰斗	荒巻 聖
九州大学病院	馬場 英司	海老原 かおり
国立がん研究センター 中央病院	藤原 康弘	伊藤 美樹

事務局 国立がん研究センター 中央病院 片山 宏 木村 綾 辻 典子

2016年5月1日現在